



進路だより



R 6年度 11月号

～ 2024年の締めくくりの時を迎えて ～

今年も残すところ、あと1か月ほどになりました。この2024年はどんな年になったのでしょうか？高校生活とは不思議なもので、時間の経過がとても早く感じるものです。「運動会があって中間考査が終わってからはや2か月もたって、もう期末考査だ！」という感覚でしょうか。3年生の皆さんは、大学入学共通テストまであと約50日。体調管理に気を付けて、悔いのないよう頑張ってください。

【報告】2年生キャリア教育講演会 株式会社リクルート 菊池 啓子 先生

10月25日（金）6限に菊池啓子先生をお迎えして、「未来を想像する」と題した講演を行っていただきました。その後、講師の先生と進路委員で座談会を行いました。先生の熱い思いがこもった分かりやすいお話に引き込まれ、自分のこととして未来を考え、中身の濃い充実した講演会と座談会でした。参加した生徒の皆さんの感想を紹介します。



<講演会>

- ・みんなの前で自信を持って堂々と自分の将来を語ることにとても緊張しました。なぜなら将来を語ることは決意があることだと感じたからです。また、「口に出したことは実現する」という講師の先生の言葉が心に響きました。
- ・協調性や主体性など、自分が思っていた意味と、社会に出た時に使われる意味とでは違うことを知り驚きました。社会に出た時に役立つ人間関係の在り方をこれからも学びたいです。また、これから充実した人生にするために、自分が何をこれからして、何が好きなのかを知っていきたくたいです。
- ・印象に残っているのは、人生は登山で、1つの大きい山の頂点を目指して登っていくのもいいけど、途中で引き返してもいいし、小さな山をいくつも登るのもいい、という言葉です。私は飽きっぽい方なのでこの言葉はかなり刺さりました。今までは早くやりたいことを見つけて目標に向かって一心に努力しなければならぬと思っていました。しかし、その目標は必ずしもひとつの大きいものである必要はないとわかって心が軽くなりました。何か凄い目標をみつけないといけないという強迫観念のようなものが、私が将来の夢について考えることを阻害していたのかもしれない。もっと気楽に考えようと思えました。
- ・将来の仕事について、給料が安定していることや自分が得意な分野の仕事だからと1つに決めるのではなく、様々な経験を通して自分のやりたいことを、時間をかけて探していくことが大切だという話が印象深いです。自分の知識を増やすことで新たに自分に合ったことが見つかるかもしれないので、様々な経験をして自分の世界をもっと広げていこうと思いました。

<座談会>

- ・座談会では、先生が優しく全員の質問に答えてくださり、どのような能力を身に付けることが大切なのか、また、そのためにはどうすれば良いのかなどを答えてくださり、とても自分のためになる話をしていただきました。
- ・「後ろ向きに考えてしまう自分を直したい」という悩みを話し、どうすれば前向きになれるのか質問をしました。それに対して、「必ずしも前向きでいる必要はない」と返していただき、今まで「前向きでなければいけない」と考えていた自分を変えることができるきっかけとなりました。これから大学入試やその先の就職活動など、人生の大きな選択が待っている中でたくさん悩み、嫌になって後ろ向きに考えてしまうことがあると思いますが、この座談会でいただいた言葉を思い出して乗り越えていきたいです。

【報告】大学説明会 「九州大学工学部」

10月28日(月)に九州大学工学部融合基礎工学科准教授の片山一成先生を本校にお招きして、九州大学説明会を行いました。九州大学のキャンパスや設備、工学部各学科の研究内容など、とても興味深い話をさせていただきました。ありがとうございました。以下生徒の感想です。



- ・何をやりたいか明確に決めていない自分だったが、今回の講演で少し自分がどんな事をしてみたいのかが見えてきたように感じました。特に新しいエネルギー源としての核融合炉の研究が面白く、自分も理系学部に進学してより水準の高い学問を追求していきたいという意欲が湧きました。(1年生)
- ・日本が誇る旧帝大の一つである九州大学の説明会ということで参加させていただきました。工学部で勉強、研究しているうちに、留学やプロジェクトなど様々なイベントがあり、濃い大学生活が送れそうだなと思いました。就職先にも大手メーカーが並び、感激しました。ですが、このような素敵な生活を送るには、今必死で勉強をしなければなりません。九州大学をはじめとする旧帝大に挑戦できるようにこれからも日々精進していきます。(1年生)
- ・今までは工学部であれば機械工学しか興味がありませんでしたが、融合基礎工学というコースに興味を湧きました。自分は今、機械工学と情報工学のどちらに進もうかと悩んでいたのですが、今日その両方が学べる融合基礎工学という新しい道を見つけることができました。一方で、融合型のコースだと深く学べないのではないかとこの疑問も湧きました。今日学んだことを活かして進路を考えていきたいです。(2年生)

【報告】大学説明会 「愛媛大学社会共創学部」

11月19日(火)に愛媛大学社会共創学部産業マネジメント学科教授の岡本隆先生、助教授の樊帆先生を本校にお招きして、愛媛大学説明会を行いました。社会共創学部で学べる内容について詳しく説明いただき、お話に引き込まれる時間となりました。ありがとうございました。以下生徒の感想です。



- ・説明会に参加して、実践的な活動と勉強の両方ができることがわかり、とても興味を持ちました。中でも、企業や自治体と連携して課題解決に取り組めることを知り、規模の大きさに驚きました。「大学でこんなことも学べるんだ」という新たな発見に繋がり、とても有意義な時間になりました。今後の進路選択に生かしていきたいです。(1年生)
- ・1年生の夏休みにオープンキャンパスに行ったけれど、そのときは異なる視点から話を聞くことができました。特に、文理融合の学部ということで、課題解決には文理問わず多くの人と協力して取り組むため、社会に出たときにとても役立つということが分かりました。また、近年必要とされている主体性や実行力、リーダーシップといった力を伸ばすことができる点にも魅力を感じました。経済、経営の力で地域を変えようというスローガンが自分の興味のある分野に一致しているので、深く話を聞いて良かったです。座学と実践を繰り返すという部分に高校と大学の違いを感じました。今回の説明会をきっかけに、さらに細かいところまで進路研究をしていきたいです。(2年生)

【予告】第2回南高教養アップ講座 「何のために学問をするのか？」

12月18日(水)に第2回南高教養アップ講座を実施します。京都大学大学院文学研究科より博士後期課程2回生の鳥居千朗氏をお招きします。「そもそも私たちはどうして学問なんかをするのでしょうか？」という問いに対して、哲学を踏まえて講義していただきます。参加する生徒の皆さんは学問について考える良いきっかけとしてください。

今年度は3学期にあと2回、南高教養アップ講座を実施する予定です。またクラスで募集をかけますので、積極的に参加してください。